

守山中学校の生徒の皆さんへ

皆さん、こんにちは。臨時休業も10日目となりました。いかがお過ごしですか？臨時休業が延長となり、学校再開がまた後になってしまいました。元気な皆さんに会えると思っていたので、本当に残念です。この件についてのご連絡は、後から緊急メールとホームページにてお知らせいたします。

さて、私は最近、読んで勉強になった本があります。何の本だと思いますか？夏井いつき先生の「2択で学ぶ 赤ペン俳句教室」です。テレビのプレバトでの俳句が2つ並んでいて、「才能アリ」はどちらか選ぶのです。私は、理由も合わせて真剣に考えます。でも、なかなか当たりません。その後、夏井先生の解説を読むと、心がスッキリするほど納得します。夜、家で読んでいると自分もスタジオでプレバトに参加している気にさえ、なってきます。



これが、読書の醍醐味です。テレビや動画では、どんどん番組が進行していくので、じっくり考えません。すぐに答えがわかりますし、出演者の反応も気になってしまいます。しかし、本は誰にも邪魔されず、落ち着いて自分のペースで読み、考えることができます。そこで、私は読書の素晴らしさについて考えました。5つあると思います。

1 疑似体験ができる

実際には体験できないことも、本を通してすることができます。先ほどのプレバトも同様です。小説の登場人物を通して、疑似体験できます。



2 知識や語彙力が増える

本からの様々な情報を得て、知識や語彙力が増えていきます。視覚で覚えるよりも考えて覚えるので、頭にしっかりと残りやすいです。また、人とコミュニケーションをとるきっかけが作りやすくなります。

3 発想力が豊かになる

本を読んでいくうちに、自分で想像できないことと出会い、イメージが広がり考えるようになります。そこから、新しい発想が生まれることもあります。

4 視野が広がる

本が自分と違うことに気付き、自分なりの考えを持つと同時に幅が広がります。

5 落ち着いた個人の環境ができる

部屋に限らず、電車やバスの中、待ち時間等いつでも、どこでも、迷惑をかけずに行うことができます。気分転換にもってこいの活動です。

読書には、このような5つの効果があります。

この臨時休業を利用して、よく本を読む人も今まであまり読まなかった人も、時間を生かして、お気に入りや興味がある本でいいので、ぜひ積極的に読書に取り組んでみましょう。毎日、少しでも読み続けて、読書の習慣を身に付けられるといいですね。私も、読書習慣を身に付けたいと思います。そして、今日は木曜日、プレバトを見ます（笑）。「チーム守山」で読書活動を盛り上げていきましょう。

郡山市立守山中学校長 佐久間 一晃

